

観光で『外貨』を稼ぐ。

南房総・館山がともに目指す「観光地経営」。

南房総と館山、一緒に観光地、
ご当地について考える。

館山市観光協会（上條長永会長）と南房総市観光協会（清宮信英会長）は、2市が共通課題の解決に連携して取り組む「館山市・南房総市定住自立圏」の形成協定（令和2年7月締結）をきっかけに、両市の観光協会では令和3年5月から協議を重ね、手を携えて観光振興に取り組んでいる。

これは、来訪者からは、館山市、南房総市を含む南房総エリアは一つの観光地として見られており、2市の観光資源を共有して情報発信し、より効果的に誘客を進めていこうということ。具体的にはこれまで別々だったパンフレットなども館山、南房総で一体化したり、一緒に観光プロモーションをしたりと一つの地域として地域全体で対策、戦略を練っているという考えである。

まずは取組の初年度として、これまで「ダイヤモンド富士」「いちご」「ペトトと楽しむ旅」「温泉地域としてのプロモーション」などのコンテンツについて、合同で情報整理、発信等を行った。

観光地を経営する。 「稼ぐ地域」とは。

なぜ、観光により戦略的に取り組む必要があるのか？地域最大の課題は、人口



協定を交わした南房総市堀江前観光協会会長（左）
館山市上條観光協会会長（右）

減少である。これは、日本全体にいえることで、人口が減少することによって、これまでと同じような地域消費、地域生産は難しい。そこで『外貨』を稼ぐ観光の出番である。

地域全体で「観光地」と なれるかどうか？

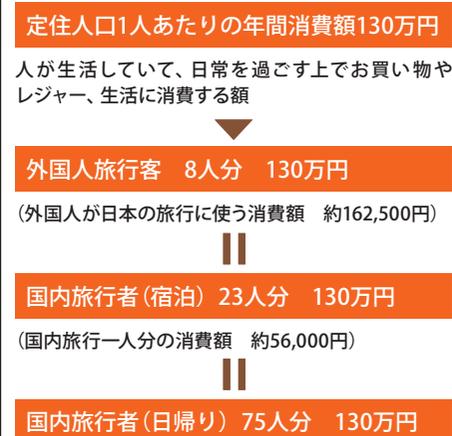
観光は「モノ」の消費だけではない。この地域においてなられた方が、「館山は良かった」「南房総楽しかった」という点に、人とのふれあい、空気感への満足感が必要になる。旅館で、観光スポットで出会った地元の方との「会話」も「観光商品」であり、そのふれあいこそが「旅の魅力」でもあるのだ。

地域をあげて、「観光が人口減少時代の生き残りの切り札になる」と考えていただけのように取組を継続する必要がある。

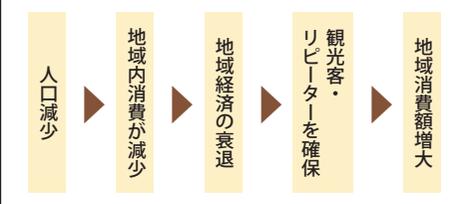
人口減少による 「地域内消費額」の減少予測

定住人口一人あたりの年間消費額は130万円と言われ、人口減少が続く南房総地域でも必然的に「地域内消費額」がますます減少していく。この先、15年後には、館山市・南房総市で、1万5千人程度の人口減が予想され、現在と比べて、およそ195億円の消費額が一年間に「消失」する。だからこそ、観光事業者のみならず、農業、漁業、商工業…、産業が一緒になって、行政も含めて「地域消費額」の増大について考えてみませんか？

図表 観光交流人口増大の経済効果



お泊りの方が23人いたら、定住人口1人分の年間消費額をカバーできることになる！



※国全体の数値としています。
（ひとつの地域で使う、消費する金額とは限りません）
※2019年の家計調査（総務省）による。
※2019年の旅行消費額調査、観光消費動向調査による。

夜のメニューが少ない地域。ただいま研究中です。 「星空観察プログラム」がご当地でできないかな？

館山市観光協会では、観光庁の「看板商品の創出」事業の補助金を受けて、「ナイトコンテンツの開発・星空観察プログラムの開発」の事業を行った。夜や雨天時の観光メニューが少ないことから、消費額の増大、観光客の満足度向上のために、「ナイトコンテンツ」の開発の研究、メニュー化について検討している。



南房総と館山、温泉宿は40軒。 一緒に売ろう！知ってもらおう！

館山市温泉事業組合と南房総市温泉組合に所属する宿は、合わせて40軒。首都圏の方々には、あまりこの南房総エリアの「温泉宿」が知られてない。自分の旅にあわせて選べる温泉の地域でもあることを、両市あわせてのPR作戦実施中。



『公式』南房総市
YouTube
観光協会ちゃんねる

公式Instagram
enjoyboso

一般社団法人南房総市観光協会
◆南房総市観光インフォメーションセンター
〒299-2403 南房総市富浦町原岡89-3
☎0470-28-5307

南房総市観光協会 検索

たてやまファンクラブ

観光情報Twitter

一般社団法人館山市観光協会
◆観光案内所（JR館山駅東口）
〒294-0045 館山市北条1879-2
☎0470-22-2000

館山市観光協会 検索

南房総・館山
共同で情報発信

LINEで
友だちになろう！
enjoy-boso

それぞれの会員を統合して、
「南房総・館山のファン」に
共同で情報発信。
観光LINEを
一本化！



※ランディングページのイメージです